

News Release

平成21年4月1日

パイオニア株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小谷 進
 (コード番号 6773 東証第一部)
 問合せ先 常務取締役経理部長 岡安 秀喜
 電 話 (03) 3494-1111

退職プログラムの結果についてのお知らせ

当社は、構造改革の施策として退職プログラムを実施しましたので、その結果につき次のとおりお知らせします。

1. 退職プログラムの結果

- (1) パイオニアプラズマディスプレイ株式会社 鹿児島工場における特別退職プログラム

退職者数 533名 (平成20年12月31日現在の従業員数 602名)

実施期間 平成20年11月25日から12月15日まで

退職日 平成21年2月28日

(注) 同工場は、平成21年2月28日をもって閉鎖しました。

- (2) パイオニア・ディスプレイ・プロダクツ株式会社 静岡工場における特別退職プログラム

退職者数 240名 (平成20年12月31日現在の従業員数 575名)

実施期間 平成20年8月18日から9月5日まで

退職日 平成21年3月31日

2. 業績に与える影響等

上記の退職プログラム(退職者計773名)に係る特別退職金は、平成21年3月期第3四半期連結累計期間に計上した事業構造改善費用18,012百万円に含まれているため、平成21年2月12日に発表した平成21年3月期の連結業績予想の変更はありません。

通期連結業績予想 (平成21年2月12日発表)

(金額単位 百万円)

	営業収入	営業利益 (△損失)	税引前利益 (△損失)	当期純損失
平成21年3月期予想 【日本会計基準】	560,000	△69,000	△110,000	△130,000
平成20年3月期実績 (ご参考) 【米国会計基準】	774,477	10,907	3,434	△17,992

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等の特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。